博物館的機能から見た国営公園における展示施設の設置状況と管理運営に関する研究

A Study on Establishment and Management of Exhibition Facilities in National Government Parks Focused on Its Museum Function

平松 玲治* 堀江 典子* 大浦 康史*

Reiji HIRAMATSU Noriko HORIE Yasuhito OURA

Abstract : In National Government Parks, a large number of exhibition facilities have been constructed and are managed and operated for purposes such as introduction of projects related to parks and open green space, popularization and education activities related to the nature and culture of the region, etc. Issues for these exhibition facilities include renewal of exhibits, specialization of content, and the like. Study of efficient/effective management and operation techniques referring to case studies of museums, which are similar facilities, is considered effective in responding to these issues. In this research, the date of establishment, area, items displayed, condition of installation of fixtures and furniture of the exhibition facilities, and the purpose, period, location, content, and management and operation of the operation system, etc. of permanent exhibits and thematic exhibits were arranged, and the features and effects of exhibits in National Government Parks were analyzed and considered from the viewpoint of museum-like functions.

Keywords: exhibition facility, National Government Park, museum, event program, park management

キーワード: 展示施設, 国営公園, 博物館, 行催事, 公園管理

1. 研究の背景と目的

都市公園では、公園の効用を全うするために、植栽・噴水等の造景施設、休憩所・ベンチ等の休養施設、ふらんこ・すべり台等の遊戯施設、野球場・水泳プール等の運動施設、植物園・野外劇場等の教養施設、駐車場・便所等の便益施設等の公園施設が設けられている。それら施設の中でも、植物園・動物園・水族館・自然生態園・陳列館等が含まれる教養施設は、設置するだけでは期待された機能を発揮できず、展示更新や新たな企画提案等の設置後における各種の取り組みにより補完されるため、維持管理が中心である他施設と比べ、より運営管理の重要性が高いといえる¹⁾。

一方、教養施設の機能を重要視している施設としては博物館があり、例えば本場が「博物館の中核的機能は展示であり、展示とそれにつながる仕事が博物館の重要な責務²⁾」と述べている等、重要視していることが伺える。博物館では展示課題・展示資料等の展示する「もの」や、使用媒体・配列・解説法・展示手法等に関する研究や技術開発が行われ、実践されている³⁾。また博物館は、展示以外に「資料の収集保管」「調査研究」「教育」「レクリエーション」の機能を一連の工程として有する⁴⁾が、これらは都市公園にもある程度重なる機能であるので、博物館の管理運営手法には都市公園に応用可能な点があると考えられ注目される。

都市公園においては、従来から園内で見られる動植物や遺跡等の文化財についての案内解説板などが設置されてきたが、近年では、公園内の様々な自然的・歴史文化的資源の利活用と利用促進の観点から、ガイドツアー⁴⁾、環境学習プログラム⁵⁾、展示解説の充実⁶⁾などが図られるようになり、展示施設・体験施設の設置、ガイドボランティアの育成・組織化がなされる事例も増えている。このような傾向は、指定管理者制度の導入に伴う管理運営業務の評価向上の必要から、今後さらに進むものと考えられる。特に、有料公園として質の高い管理運営が求められる国営公園では、より積極的な利用者サービスが求められるなかで、豊富な園内資源を活用して展示施設等の機能をより充実させるために、その役割

を博物館的な機能という観点から整理しておくことが有意義と考えられる。

これまで、ハード面の公園施設に着目した自然公園の教化施設⁸⁾、都市公園の博物館等施設の設置基準化⁹⁾等の研究、都市公園の水田施設¹⁰⁾等があり、ソフト面の利用プログラムの提供¹⁾、⁵⁾、公園の案内解説手法⁶⁾等の研究があるが、公園の展示機能に着目し、公園内の展示施設の設置状況と、その活用状況については未だ十分な把握はなされていない。そこで本研究は、国営公園における教養施設のなかでも展示行為に特化した「展示施設」を対象として、その機能を一層充実させる方策に資する知見を得るために、施設におけるハード面の特性や展示内容・方法等のソフト面の特徴について整理し、先進的な類似施設である博物館の機能を参照しながら、公園管理技術上の課題と応用可能性について考察することを目的とする。

2. 研究の対象・方法

(1) 研究対象と用いた資料

研究対象は、入園料金を徴収する有料の国営公園12箇所(表-1参照)とした。対象を国営公園としたのは、他の都市公園と比べて広大な供用面積(対象とした公園の平均で165.4ha)を有し、公園内に保有する自然資源も豊富で、施設も多岐にわたる等、多様で高度な管理運営技法が求められているからである。また、有料公園に限定したのは、無料公園に比べて高水準のサービス提供が求められ、公園内施設における効果・効率的な管理運営手法を研究する上で、ふさわしい対象と考えたからである。なお、以下各公園の名称を滝野・みちのく・常陸・武蔵・昭和・あづみの・越後・明石・備北・まんのう・海中・吉野ヶ里と表記する。

研究に用いた資料は、展示及び展示施設に関連する既往研究、年間の国営公園管理の実績をまとめた「国営公園管理の概要」¹¹⁾の統計資料、展示施設及び展示内容について、各公園の実施担当者を対象に行った実態把握調査の結果である。

*財)公園緑地管理財団公園管理運営研究所

（２）整理・考察の方法

おもに「国営公園管理の概要」の統計資料を用いて、12箇所の国営公園における展示施設、平成20年度における展示を実施した行催事を抽出した後、管理実態を把握するため、国営公園の配置職員を対象に、展示施設は事業実施の基盤である什器・保存方法等のハード面、常設的な展示の有無・利用内容・展示以外利用・人員体制のソフト面について、行催事は管理運営の具体的な内容である展示場所・展示資料とその手配方法・展示期間・準備期間・市民参画の有無と内容についてヒアリング調査した。

以上を展示施設及び管理運営上の特徴として整理した後に、国営公園の展示施設における展示解説の機能を充実させる管理運営技術への応用可能性について、先に触れた博物館が有する機能を参照し、「資料の収集保管」「調査研究」「展示・教育」という一連の工程との関連から考察した。

なお、展示の定義や分類については、博物館分野で新井や青木等の研究実績があり、これを踏まえて本研究でも用いることとし

表－１ 国営公園における展示施設一覧（H20）

公園名 開園年月 面積(ha)	整備目的と おもな展示施設	展示施設名称	常設 仮設	規模 (㎡)	開設 年度	おもな展示内容 (常＝常設展示 企＝企画展示)
「国営滝野すずらん丘陵公園」 S58.7 192.3	北海道の広域クリエーション等に対応し整備。常設の展示施設はない。	東口休憩所	仮設	595.3	H12	写真作品、クラフト作品
「国営みちのく杜の湖畔公園」 H11.8 305.1	東北地方の広域クリエーション等に対応し整備。展示施設は東北地方の古民家を集めた「ふるさと村」を有する。	ふるさと村 移築古民家(合計7棟) 多目的ホールふるふる	常設 常設 仮設	64,000 1,882 3,000	H9 H9 H10	移築古民家、長屋門、畑 常：ジオラマ、映像、古民具 企：ジオラマ、クラフト作品、鉢植
「国営常陸海浜公園」 H3.10 141.1	首都圏の広域クリエーション等に対応し整備。常設の展示施設はない。	そよかぜドーム テラスハウス グラスハウス 記念の森レストハウス	仮設 仮設 仮設 仮設	492.8 4,200 22,000 71.5	H6 H17 H11 H7	大衆・連風 絵手紙、写真、染物作品、押し花作品、花装飾 陶芸作品、写真・短歌作品 スライダ・ギョーラ（解説パネル、ドライフラ）
「国営武蔵丘陵森林公園」 S49.7 304.0	明治100年事業の環境を記念し整備。武蔵野の丘陵地の地形や植生を活かした公園。屋外型の展示施設として「都市緑化植物園」を有する。	都市緑化植物園 都市緑化植物園展示棟 西口管理棟(2階休憩所) 南口休憩所	常設 常設 仮設 仮設	450,000 250 689 188	S54 S52 H58 S50	見本園、パークデザイン、ボーダー花壇 常：園内案内、クラフト作品 企：植物解説パネル、鉢植 昆虫生体 常：周辺地域の情報 企：写真作品
「国営昭和記念公園」 S58.10 162.5	昭和天皇御在位50年を記念し整備。常設の展示施設は屋外型の「花木園」、屋内型の「花みどり文化センター」を有する。	花木園 花木園展示棟(展示室、玄關ホール、講習会室) 花みどり文化センター 昭和天皇記念館 こもれびの家 ガイドセンター	常設 常設 常設 常設 常設 常設	90,000 260.8 2,051 909.8 112 1,075	S61 S61 H17 H17 H21 H16	四季の花木、草花、スライセン 常：ジオラマ、パネル 企：パネル、クラフト作品、写真作品、絵画作品 常：パネル、標本、映像 企：写真作品、絵画作品、鉢植 昭和天皇様の御品 こもれびの丘の紹介 周辺観光施設案内
「国営アルプスあづみの公園」 H16.7 26.9	広域かつ自然と文化の融合をめざした新しいクリエーション需要に対応し整備。常設の展示施設は「テーマ展示館」を有する。	テーマ展示館(各教室、多目的ホール、ギャラリー)	常設	3,135	H16	常：ジオラマ、水槽(飼育動物)、映像 企：写真作品、絵画作品、昆虫標本
「国営越後丘陵公園」 H10.7 148.6	北陸地方の広域クリエーション等に対応し整備。常設の展示施設はない。	緑の館(体験学習室、展示室、多目的ホール) 花と緑の館(体験学習室、展示室) 展望台(1階、3階)	仮設 仮設 仮設	1,992 2,684 356	H10 H15 H11	鉢植、絵画作品 クラフト作品、絵画作品、植物解説パネル 公園のジオラマ、地形図パネル、地層標本
「国営石川海浜公園」 S14.3 37.2	近畿地方の広域クリエーション等に対応し整備。常設の展示施設はない。	パークセンタービジター棟(1階、2階)	仮設	281	H16	歴史パネル、昆虫標本、写真・短歌作品
「国営備北丘陵公園」 H17.4 222.1	中国地方の広域クリエーション等に対応し整備。常設の展示施設は屋外型で地域の農村景観を復元した「ひばの里」、屋内型の「さとやま展示館」を有する。	ひばの里 さとやま展示館 工房3展示室 さとやま屋敷(母屋、内蔵) ビジターセンター エントランスセンター-国兼	常設 常設 仮設 常設 仮設 仮設	89,500 277 74 519 1,321 2,969	H7 H7 H12 H7 H7 H20	復元建物(原数、農家)、体験工房、田畑 地域の絵画・写真作品 たたら解説パネル、陶実物 常：古民具、企：地域の芸術作品、季節の行事 常：公園の紹介パネル、企：地域の芸術作品 写真作品、クラフト作品
「国営讃岐まんのう公園」 H10.4 157.7	四国地方の広域クリエーション等に対応し整備。屋外型の展示施設である里山環境を復元した「自然生態園」を有する。	自然生態園 自然生態園自然生態展示館 ビジターセンター	常設 常設 仮設	156,000 320 698.1	H14 H14 H10	自然生態観察園(里山) 観察コース・里山紹介のジオラマ、パネル、映像、農機具 常：公園のジオラマ、パネル 企：写真・短歌作品
「国営海の中道海浜公園」 S56.10 249.4	九州地方の広域クリエーション等に対応し整備。屋内型の展示施設である水族館「サンワールド」、野外型の動物園「動物の森」を有する。	動物の森 マリンドール 動物の森レストハウス 水辺の広場レストハウス 子供の広場管理棟 シーサイドセルズシオヤ 復元建物群	常設 常設 常設 仮設 仮設 仮設 常設	78,000 14,200 92 382 534 237 5,083	S56 H1 S58 H54 H58 H60 H12	動物園(放飼動物) 水族館(飼育動物、水槽、展示解説パネル、映像) 動物写真パネル 植物写真パネル、鉢植 築地寄席パネル 浮き物、海の道具 復元建物・土器・農具
「国営吉野ヶ里歴史公園」 H13.4 38.3	弥生時代の貴重な歴史遺産の保存活用のために整備。展示施設は屋外型では弥生時代の「復元建物群」、体験学習施設「弥生くらし館」等を有する。	歴史公園センター(多目的ホール、ガイダンスルーム、ミニシアター) 弥生くらし館 北墳丘墓展示館	常設 常設 常設	6,765 1,115 575	H13 H19 H20	常：道跡・公園紹介パネル、映像 企：クラフト作品、歴史解説パネル、映像 歴史解説ジオラマ、パネル、映像 遺構画、解説パネル、模型

た。例えば展示の定義は、新井による「展示資料（もの）を用いて、ある意図のもとにその価値を提示するとともに、展示企画者の考えや主張を表現・説示することにより、広く一般市民に対して感動と理解・発見と探求の場を造りだすこと¹²⁾」とした。また、展示内容は青木の実績³⁾をもとに、恒久的な展示を提供する「常設展示」、期間を限定して展示を提供する「企画展示」に分類した。

3. 結果

平成20年度の国営公園における展示施設の現状（表－1）及び展示に関連した管理運営の取組み（表－2）を整理した結果から、特徴について下記に述べる。

（１）展示施設に関する特徴

（i）社会的なニーズによる設置

国営公園における展示施設の設置は、社会的なニーズを受けて進められていることが確認できる。例えば、昭和54年度に設置された武蔵の都市緑化植物園は、都市緑化の普及啓発が求められた時代背景があった。また、平成7年度に備北「ひばの里」、平成9年度にみちのく「ふるさと村」が設置されたのは、里山をはじめとする地域の農村景観を保全する社会的なニーズに対応しており、平成14年度にまんのう「自然生態園」、平成16年度にあづみの「テーマ展示館」が置かれたことは、市民が公園案内・インタープリテーションへ参画を希望するニーズへ対応していた。

（ii）常設と仮設

国営公園で展示を実施している空間・場所には、展示を主目的として、常設展示を備えている施設と、本来は展示を目的としておらず、行催事の企画展示のみに使用する施設があり、ここでは前者を「常設展示施設」、後者を「仮設展示施設」と定義する。吉野ヶ里・武蔵・昭和のように常設展示施設のある公園は、展示施設が公園の主たる整備目標に合致しており、設備の充実や人員の配置等、管理運営にも力点が置かれている。また、滝野・常陸・明石のように常設展示施設を持たない公園では、情報発信・普及啓発・レクリエーション等の展示機能を、他の施設により代用していることが見られる。

（iii）立地を活かした屋外型展示

公園は屋外レクリエーションを提供する場であり、その立地を活用した屋外型展示が多数見られることが特徴である。例えば、建築物の屋内で展示するだけではなく、武蔵・昭和・海中・まんのうのように、植物園・動物園・自然生態園等の構成要素である動植物や、みちのく・備北・吉野ヶ里のように、復元建物・移築建物等の建築物のみならず、それらを包括する屋外空間も展示物として扱っている。それらの屋外型の展示施設では、該当エリア内に展示棟・レストハウス等の屋内型の展示施設が合わせて設置されていることも特徴である。

（２）管理運営上の特徴

（i）多様な利用形態

国営公園の常設展示施設では、展示以外の利用として休憩・通行・行催事等が見られ、それらの利用を受容するとともに、多様な利用空間として活用していることも特徴である。なお、展示施設のなかで展示以外の利用が見られないのは、歴史学習の展示専用施設吉野ヶ里の「北墳丘墓展示館」のみである。また、特筆すべき利用形態として、昭和「花みどり文化センター」における貸し会場としての利用、常設の展示専用施設である武蔵「都市緑化植物園展示棟」、昭和「花みどり文化センター」、あづみの「テーマ展示館」における物品販売がある。特に「花みどり文化センター」では、仕切りの少ない空間構造が展示以外の多様な利用を可能としている。

その反対に仮設展示施設では、本来展示施設でない空間・場所を展示施設として一時的に転用させることも管理運営のなかで行

われている。例えば、滝野・武蔵・海中のように、休憩所・レストハウスの名称で、本来は休憩施設の一部の空間（諸室）を活用して展示をする場合や、みちのく・あづみの・越後・吉野ヶ里のように、「多目的ホール」での展示実施が見られる。もちろん、それらは企画展示のみでの使用であり、本来は展示目的ではない施設での展示を可能にしているのは、バックパネル・ショーケース等、企画展示の開催を可能とする什器設備が充実しているからである。また、海中「シーサイドヒルズシオヤ」のように、利用の少ない既存施設を簡易な常設展示の場所に転化させた事例もある。

（ii）企画展示の実施

調査対象とした12箇所の国営公園の展示施設で、年間175件の企画展示が開催され、公園の開催事全体のうち11%を占めていた。場所別に見ると、常設展示施設では、例えば吉野ヶ里の歴史公園センターでの「まぼろしの邪馬台国」、武蔵の都市緑化植物園での「やまゆり展」等の各種の植物展のように、常設展示の内容について理解をより深めるために企画展示が開催されている。一方、仮設展示施設では、写真や絵画作品等の展示、植物の鉢物

等の展示、動物の標本展示のように、公園の利用促進を目的として開催されている。

また、企画展示は全般的に室内で実施されることが多いため小規模で、開催期間が30日間以上の事例が多い、参加者数が把握されていない事例が多い等の特徴があるが、利用促進の面からは、全体の利用者数の増加に寄与するような事例は見られない。

（iii）運営体制と市民との連携

全ての常設展示施設では、管理運営である案内解説・利用指導・安全管理等を実施するために、職員が配置されている。ただし、配置された公園の職員は、学芸員資格のように必ずしも博物館のように展示に関する知識や展示解説の技法を有する者ではなく、植物管理・利用指導等の公園管理を専門とする職員等である。

また、利用者との交流や内容をよりわかりやすく伝えるインタープリテーションを目的として、ボランティア等の市民参加による業務補助が見られる。案内解説以外の市民の参加としては、学校・趣味のサークル等の地域の団体の協力による展示の制作・設置、展示物の借用の事例が見られる。

表－2 国営公園の展示施設の管理運営状況（H20）

公園名	展示施設名称	展示期間		展示以外の利用		展示設備		案内解説		人員配置		
		常	企	休	通	催	他	常	催	保	演	人
数(人)	配置者	業務内容										
滝野	東口休憩所	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
みちのく	ふるさと村	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	移築古民家(合計7棟)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	多目的ホールふるふる	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
常陸	そよかぜドーム	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	テラスハウス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	グラスハウス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	記念の森レストハウス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
武蔵	都市緑化植物園	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	都市緑化植物園展示棟	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	西口管理棟(2階休憩所)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	南口休憩所	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
昭和	花木園	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	花木園展示棟(展示室、玄関ホール、講習会室)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	花みどり文化センター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	昭和天皇記念館	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
あづみの	こもれびの家	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ガイドセンター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	テーマ展示館(各教室、多目的ホール、ギャラリー)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	緑の館(体験学習室、展示室、多目的ホール)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
越後	花と緑の館(体験学習室、展示室)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	展望台(1階、3階)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	明石	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
備北	パークセンタービクター棟(1階、2階)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ひばの里	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	さとやま展示館	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	工房3展示室	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
まんのう	さとやま屋敷(母屋、内蔵)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ビクターセンター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	セントランスセンター国兼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	自然生態園	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
海中	自然生態園自然生態展示館	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ビクターセンター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	動物の森	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	マリンワールド	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉野ヶ里	動物の森レストハウス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	水辺の広場レストハウス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	子供の広場管理棟	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	シーサイドヒルズシオヤ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(凡例) 展示期間: 常設展示、企画展示 展示以外の利用: 休憩、通過、行儀事、その他 展示設備: 常設用、行儀事用、保存用の措置 案内解説: 展示あり、人によるガイド、セルフガイド 人員配置: 職員(臨時・パート・委託業者含む)、アルバイト、看護婦、ボランティア等(パートナー含む)

4. 考察

上記の結果をもとに、国営公園の展示施設と管理運営の取組みにおける役割と、現状の課題について提示した後、博物館的な展示解説等の機能の観点から、国営公園の展示に関わる管理運営技術への応用のあり方を考察した。

（1）展示の役割

（i）貴重な資源の保全

備北・みちのくの古民家と周辺の施設のように失われつつある景観とその構成要素、まんのう「自然生態園」のように生態系を含めた自然環境、吉野ヶ里のように貴重な歴史遺産等、地域の貴重な資源を公園内に保全することができること、植物園や花木園のように樹種を収集保存ができること等、公園における展示施設の設置には、地域の貴重な資源を保全する機能があると言える。

（ii）公園利用の活性化

展示施設での企画展示の実施により、展示仮設施設である多目的施設の稼働率を上げていること、案内解説への補助を行う市民参加の活動の場であること、利用不活性施設の活用事例があること等、公園利用活性化の機能があると言える。特に、企画展示は小スペースの中で短時間かつ安価に行儀事場をつくり出すことができ、施設を管理運営する上で応用性・即応性に優れている。

（2）現状の課題

（i）管理目的・意図の明確化

国営公園は、定められた基本方針・基本計画等に沿って整備が進められており、展示施設もそれらに従って設置されている。特に、国営公園の常設展示施設は、新規開設に合わせて時間と費用をかけて、資料の収集や展示設計等を行った上で、常設展示として公開されている。しかし、開設以降に当該施設において展示内容や設備の更新事例がなく、繰返し利用者（リピーター）等へ新たな関心を喚起させることや時代ごとの社会的なニーズを反映させるためには、常設展示の基本情報をもとに、企画展示等による新たな価値や情報内容を付加させ、発信させることが必要である。

しかしながら、国営公園の企画展示は、準備期間の少ない中で展示に関する専門家ではないスタッフが、企画・実施しており、展示施設としての貴重な資源の保全や、公園利用の活性化の役割を果たすためには、実施規模や期間に関わらず企画展示を行う目的・意図を明確にすることが課題である。

（ii）運営体制の課題

国営公園では常設展示施設において、職員が常駐しているが、動物園（動物の森）や水族館（マリンワールド）等の一部を除き、配置する際の必要条件として職員に博物館の学芸員の資格を求め

表－３ 国営公園の企画展示の実施状況（H20）

公園名	全行 催事 件数	件数	比率	名称	企画展示												公園登録		
					準備 期間	展示 公 借	手配 借 蔵	案内解説 外 示	ボラン ティア 企 設	参画 ガ 貸	団体等連携 等 貸	ボラン ティア 協 全	展 全						
滝野	90	4	4.4%	携帯絵日記コンテスト、ハッチャー・タートル展、氷造形物展示、雪だるま作り	不明	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	3	5	0	
みちのく	129	15	11.6%	街々のアート展、松柏とさつき盆栽展、石の彫刻展、花普請inみちのく、生け花展、モデルハウジング展示、押花展、シオタマ展、七夕の飾り作り、釜房らばの会盆飾り、冬の日本の道具体験、リスマスローズの展示会、絵手紙展、クラフト展	不明	0	15	0	0	12	2	12	14	2	1	0	1	6	1
常陸	108	19	17.6%	スイセン絵てがみ展、フォトパートナー写真展、まつぼっくりカード展示、染色作品展、メモアザ絵てがみ展、大風・連風展、海浜陶芸整作品展、おしな展、秋の絵てがみ展、「コンテナガーデンコンテスト」作品展示、「国営公園フォトコンテスト・短歌コンテスト2008」入選作品展、花装飾「天地・花翔」	不明	9	9	3	0	0	0	6	5	0	5	0	0	6	1
武蔵	140	13	9.3%	「椿、その魅力」展、こいのぼりを泳がそう、江戸の花さくらそう展、都市緑化植物園30周年記念展、やまゆり展、カブトムシ・ワガタ大集合、コリウスヘル展、草月流空間インスタレーション展、菊花展、紅葉展「カエデ、その魅力」、福寿草品種展示、「2008国営公園フォトコンテスト」入選作品展、雪国の妖精「雪割草」展	1.4	9	4	1	3	0	0	1	2	0	3	0	1	5	1
昭和	182	31	17.0%	山野草展、バードカービング展、ハーブフェスタ、野草・トホ写真展、ボタニカルアート展、野外インスタレーション、オイルパステル画展、雪割草展示会、サキツブまつり、Flower Festival、押し花展、伝統的文様展、花菖蒲展、コリ展、Green Art Exhibition、こまねびの里展、松伝写真展、Autumn Picnic、思い「出」フォト展、ランダー原画展、アフォーラム「学びの先へ」、「国営公園フォト・短歌コンテスト」入選作品展、桜コンシェルジュ展、巨樹絵画展、写真コンクール作品	4	9	28	1	0	8	4	6	6	4	8	5	8	13	4
あづみの	145	17	11.7%	Bigこいのぼりをつくろう！、写真・絵画展、端午の節句展示、農体験の展示と振る舞い、七夕飾り展示、信州・安曇野の昆虫と世界のオクトムシ・ワガタ展、盆踊り展、風神祭、地球温暖化防止展示、安曇野の秋 写真・絵画展、コスモスの花の風車、懐かしき発動機展、十五夜&もちの振る舞い、安曇野アートライン美術館展、「国営公園フォトコンテスト・短歌コンテスト」作品展、離人形の展示、桜金魚の展示	不明	10	8	1	1	1	7	2	9	7	2	0	1	3	1
越後	126	14	11.1%	花のある風景絵画展、花絵展示、和紙ざり絵教室、押し花教室、山野草展、雪割草葉芸展、フォトメーキングフェスタ、押し花教室、「国営公園フォトコンテスト・短歌コンテスト」入選作品展示、リスマスローズフェスタ、国際雪割草協会展示会、「野の花・万葉の花」展、越後長岡雪割草の会展示会	2.3	2	12	0	1	4	0	0	1	0	12	4	8	3	0
明石	100	8	8.0%	「国営明石海峡公園と明石海峡大橋の歩み」展、淡路島の化石展示、世界のオクトムシ・ワガタ展「大集合・移動動物園、緊急車両展示・乗車体験、海上保安庁艦艇係留展示・体験」、「フォトコンテスト入賞者」作品展、「国営公園フォトコンテスト・短歌コンテスト入賞者」作品展	1.5	1	7	0	1	3	0	0	0	0	0	0	5	1	1
備北	175	25	14.3%	写真コンテスト入賞作品展、たたら鉄づくり展、クラフト教室作品展、大山供養田植展、クラフト作品展、美術刀剣展、コンテナガーデンコンテスト作品展、寄せ植え作品展、世界の花の庭園展、コンサート出演者手形展、版画作品展、七夕飾り展示、スケッチ展、マナー・ハネムーン&映像コーナー、沖楽展、盆栽教室、高校写真部作品展、「国営公園フォト・短歌コンテスト入賞者」作品展、インメーションコンテスト作品展、木製動物展、さより工房作品展、冬咲きばたん展、ひな飾り	不明	7	15	4	0	0	0	2	2	0	14	0	2	4	2
まんのう	157	4	2.5%	あかりアートの道&水のコスモス、秋の緑化フェア、秋の石あかりロード、「国営公園フォトコンテスト・短歌コンテスト」作品展	0.4	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1
海中	136	16	11.8%	匠の花壇コンクール、集いの花壇コンクール、ストップ!温暖化展、花の環境危機時計、高鶴元作品展、草月インスタレーション展示、しまじろう花壇、公園DEAR!公園で虹を探そう、オウム・イン・DAYS、カブトムシ・ワガタ、動物ふれあい広場、正月干支展、リスマスローズ展、クラとぼくらの物語、歯の衛生週間、アザハスを探せ	1.9	13	5	1	3	2	1	1	2	1	5	1	6	9	0
吉野ヶ里	110	9	8.2%	サイエンス企画展、蚤虫企画展、漁具の展示、変化朝顔の展示、みんなで權えようコンテナ花壇！、絵手紙スケッチ会、特別企画展「まぼろしの邪馬台国」、篝火花の世界展、「花とみどりの市」	0.4	4	4	3	5	1	0	0	0	0	2	0	0	3	1
合計	1,598	175	11.0%			69	110	15	14	31	14	30	41	14	52	10	36	60	13

(凡例) 準備期間(月) : 展示物手配(件) : 公園独自、外部からの借用、利用者の創作 案内解説(件) : 職員、外部講師、ボランティア等 ボランティア参画(件) : 展示物の企画作成、展示物の設置作業、展示のガイド
団体等連携(件) : 展示物の貸与、展示物のガイド : 公園登録ボランティア : 全団体数、展示に協力する団体数

ず、学芸員に相当する教育訓練を義務づけていない。

また、企画展示に関する市民との連携については、まんのう「インタープリターボランティア」や、あづみの「あづみの・公園パートナー」等の公園で組織されたボランティアの活動や、越後「越後長岡雪割草の会」、明石「淡路市商工会」等の公園の周辺地域にある各種団体の参画が、ほとんどの公園で見られる（表－３）。特に、公園全体では年間で活動するボランティアが全公園で60団体登録されているうち、13団体が展示に協力している実態から、公園における展示は市民の参画を促すポテンシャルを持つと考えられる。ただし、職員の資質や組織体制により、知識面や活動面でボランティアの指導体制が整わず、ボランティアに十分な満足感を与えられない可能性がある。

（３）公園管理技術への応用

（い）資料の収集保管

資料の収集保管は、博物館では根幹をなす基本的な活動・機能である。特に、保管した資料をリスト化して整理すること、そのリストを管理し更新することにより、調査研究や展示物制作に活かすことが可能となっている¹²⁾。公園においても、価値ある資料を有している以上、博物館における資料の保管・更新のシステムに倣った仕組みや体制を構築すべきだと考えられる。

（ii）調査研究

最近では、博物館が主体となって行う資料そのものに関する学術的研究等だけではなく、「集めて、伝える」ことに加え、市民とともに「資料を探求」し、知の楽しさを「分かちあう」とした、市民との協働が模索され始めている¹³⁾。公園管理で展示に関する専門家がスタッフにいない場合には、博物館による市民学芸員の養成等を参考にすると、他機関の専門家や市民と協働による調査研究をせざるを得ない。故に、公園を中心とした調査研究の実施体制のコーディネートが、管理運営技術のひとつとして必要となると考えられる。

（iii）展示・教育

博物館分野では、企画展示を実施する際に、展示資料の加工法・区分けや動線等に配慮した配置法等の展示技法が発達しており、様々な手法が開発されている^{3)、12)}。また、近年では参加型の体験学習が充実した博物館も現れる⁴⁾等、楽しみながら学習することができる場を提供しているといえる。これらの機能を公園管理へ応用させるには、例えば公園の目的に合致する体験型・双方向型の展示手法である「ハンズ・オン展示」の導入や、生物多様性や

環境への配慮等、今は公園が積極的に扱うべきテーマについて楽しみながら体験し、学べるプログラムの開発等が考えられる。

５．まとめ

本研究は、国営公園の展示施設及び展示に関する管理運営の特徴を整理した後、展示が果たした役割、現状の課題、博物館的な展示解説等の機能の観点から、国営公園の展示に関わる管理運営技術への応用性について考察したものである。展示の特徴としては、展示施設が社会的なニーズ・仮設性・立地特性があること、展示に関する管理運営では、利用の多様性・企画展示の実施・市民連携があることが明らかになった。また、展示には、貴重な資源の保全や公園利用の活性化の役割があり、現状の課題には、管理目的や意図の明確化・配置された職員の育成・市民参加の主体化があることも明らかとなった。今後、博物館的な展示解説等の機能の観点から国営公園の展示に関わる管理運営技術へ応用するために、資料収集保管のシステム化・調査研究のコーディネート・楽しく学べるプログラム開発が必要であると考えられる。

謝辞：本研究は科研費（課題番号 20605017）の助成を受けたものである。

参考・引用文献

- 1) 勸公園緑地管理財団（2005）：公園管理ガイドブック，pp.85
- 2) 木場一夫（1949）：新しい博物館：日本教育出版社
- 3) 新井重三（1981）：展示と展示法 博物館学講座(7)：雄山閣出版
- 4) 平松玲治・堀江典子・他3名（2009）：博物館的機能から見た国営武蔵丘陵森林公園における案内解説型プログラムに関する考察：造園技術報告集(5)，156-159
- 5) 平松玲治・堀江典子・川原洋・峰岸徹（2009）：国営公園における環境教育の取り組みに関する考察：青少年教育フォーラム(9)，41-50
- 6) 平松玲治・堀江典子（2009）：国営公園におけるインタープリテーションプログラムの導入と展開に関する考察：ランドスケープ研究 72(5)，585-590
- 7) 堀江典子（2008）：博物館と公園における機能評価に関する一考察：日本地域学会第45回年次大会学術発表論文集(CD-ROM)
- 8) 石井弘・油井正昭（1986）：国立公園と国定公園の教化施設に関する研究－博物館、植物園、動物園、水族館を対象として－：千葉大園学報 No.37，37-46
- 9) 金子忠一・佐藤恵利子（1990）：都市公園における博物館等施設の設置基準化に向けての基礎的研究：造園雑誌 53(5)，323-328
- 10) 藤田知則・大澤啓志・勝野武彦（2002）：都市公園にある水田施設の現状およびその維持管理における市民参加の実態：ランドスケープ研究 65(5)，739-742
- 11) 勸公園緑地管理財団（2009）：国営公園管理の概要
- 12) 青木豊（2003）：博物館展示の研究：雄山閣出版
- 13) これからの博物館の在り方に関する検討協力者会議（2007）：新しい時代の博物館制度の在り方について